

## がん化学療法レジメン登録申請書

診療科	皮膚科	医師名	
PHS		E-MAIL	
がん種	血管肉腫		
レジメン名	(GG) Weeklyパクリタキセル		
臨床試験	終了後		

根拠となった論文、資料(タイトル、著者名、雑誌名 等)

Phase II Trial of Weekly Paclitaxel for Unresectable Angiosarcoma: The ANGIOTAX Study  
Nicolas Penel, et al :Journal of Clinical Oncology Nov 10, 2008:5269-5274

## 研究デザイン

A	5 症例報告	B	3 Retrospective	C	3 サルベージ治療
臨床試験名		The ANGIOTAX Study			
臨床試験グループ					
研究対象となる症例		血管肉腫患者30人			
研究対象となる治療方法		パクリタキセル80mg/m <sup>2</sup> で週1回、3週連続投与1週休薬			
プライマリーエンドポイント		2サイクル後の改善率			
セカンダリーエンドポイント		4サイクル、6サイクル後の改善率			
結果	6、12、18か月目の全生存率はそれぞれ56%、38%、21%であった。				
結論	Weeklyパクリタキセル療法は優れた抗腫瘍効果と毒性の軽減が期待できる。				

## 推奨度

エビデンスレベル		勧告のグレード		グレード	
----------	--	---------	--	------	--

## 保険適応の無い薬剤

薬剤	備考

## 投与スケジュール

投与期間(①)	3日	休薬期間(②)	25日
1コースの期間(①+②)	28日		
投与回数コース	PDまで		

☒

	1	2	3	4	5	6	(週)
パクリタキセル	✓	✓	✓		✓	✓	...

## 処方内容

Rp	薬剤	投与量	投与方法	投与時間(投与速度)	投与日
1	生食水	100ml	点滴	ルート確保	1
2	レスタミンコーワ	50mg	p.o		1
2	ガスター	20mg	点滴	30分	1
	デカドロン	6.6mg			
	生食水	100ml			
3	パクリタキセル	80mg/m2	点滴	60分	1
	5%ブドウ糖	250ml			

☒

	0	1	2	3	4	(時間)
生食水						
デカドロン、ガスター						
パクリタキセル						

## 副作用情報(頻度、対処法)

項目		頻度(G3以上)	対処方法(減量・中止含む)
血液 毒性	白血球減少	17.0%	投与中止、G-CSF投与
	好中球減少	13.0%	投与中止、G-CSF投与
	貧血	10.0%	投与中止
	感染症	10.0%	投与中止、抗生剤投与
	嘔気/嘔吐	6.7%	5-HT3受容体拮抗剤投与
	無力症	10%	減量・中止

## 根拠となる論文あるいは資料以外に参考にした文献・資料

--

## 備考

--

申請書受理	小グループ審査	審査委員会
2010/10/27 堀	承認2010/11/16 徳山 竹下	2010/11/25
審査結果		
承認		

病院端末			薬剤部門システム	
登録	確認		登録	確認